

学長告辞

2021年度入学式にあたり、青森市長小野寺晃彦様をはじめ、各位のご臨席を仰ぎ、式を挙行できますことは、私ども青森公立大学 教職員一同にとりまして、この上ない喜びでございます。

お忙しい中、ご出席いただきました、ご来賓の皆様、厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、まずは入学おめでとうでございます。

本学は、地域の皆様の熱い想いによって、1993年に開学いたしました。

開学以来、1997年には大学院修士課程の設置、2005年には、それまでの1学部1学科体制の見直しによる1学部3学科体制への改組、2007年には教職課程の設置など、常に地域の皆様、学生諸君の期待に沿うべく、改革が進められて参りました。

現在では、経営経済分野では、北東北、道南地域唯一、博士号を授与できる大学となっています。

コロナ禍の今日、皆さんに与えられた学生という立場は、皆さん自身の努力のみではなく、ご父母や社会からの支えによってもたらされている立場であることを忘れないでいただきたいと思えます。

私たちは、ともすれば、自分の存在を当然のこととして受け止めがちです。しかし、このコロナ禍にあって、「そうではない」ということが明白になっています。世の中の情報には様々なものがあり、その中には、誤ったものも正しいものも混在しています。私たちは、より正しい判断を行うためには、正しい情報に基づき冷静に判断を下さなければなりません。本学で、明確な目的を意識して、そのような力を獲得するべく努力されるよう期待いたします。

本日はこれ以上多くは申し上げませんが、各人がよく、お考えになり、青森公立大学での生活を楽しく有意義なものに、そして、勉学に励んでいただきたいと思えます。

これからの、皆さんの努力に期待して、2021年度入学式における学長告辞といたします。

令和3年4月3日

青森公立大学 学長 香取 薫